

コンクリートセクターにおける地球温暖化物質・廃棄物の最小化に関する研究委員会
WG1/WG2 第5回合同部会議事録

日 時： 2009年08月18日(金) 10:00～13:00

場 所： JCI 第3会議室

出席者： 堺委員長，野口幹事，大脇幹事，伊藤委員，井元委員，岩崎委員，片平委員，紙田委員，河村委員，小西委員，曾根委員，高橋委員，橋本征二委員，溝口委員，天野委員代理，橋本好市委員，北垣委員，井上氏（事務局）

石塚清和オブザーバー（日本砕石協会）

配布資料：	WG1/2 5-1	コンクリートセクターにおける地球温暖化物質・廃棄物の最小化に関する研究委員会 第4回委員会議事録
	WG1/2 5-2	研究員会名簿
	WG1/2 5-3	生コンクリート工場に対するアンケート調査
	WG1/2 5-4	プレキャストコンクリート製品に関する物質フロー把握のためのアンケートについて
	WG1/2 5-5	PC工場，中間処理場，最終処分場のデータのまとめ方
	WG1/2 5-6	集計表（インベントリデータのまとめ方・大脇幹事より）

議事

1. 資料 5-1 議事録の確認

野口幹事より，資料 5-1 の議事録が読み上げられた。下記，一部修正依頼がありました承された。

▶ 高橋委員よりの修正依頼：

『セメント専門企業のデータなので，データの扱いには注意する必要がある』
がすでに環境省に公開のデータなので，特に必要がない。

▶ 野口幹事よりの修正依頼：

『都営住宅がシンプルでよい』 → 『大規模集合住宅がシンプルでよい』 に修正

2. 新規委員の紹介

橋本好市（日本砕石協会），石塚清和（オブザーバー，本日のみの予定）

3. データ収集の進捗状況確認

- ▶ 松家委員，村田委員(WG3,4)へのデータ収集依頼が届いてない可能性もあるので，大脇委員から再度督促行う。
- ▶ 資料 5-3: 生コン工場のアンケート調査進捗状況の報告がなされた。現時点でデータ収集が少ない部分（関西地方など）があるが，この調子で順次進めていただくことを確認した。
- ▶ 資料 5-4: プレキャストコンクリート製品に関する物質フロー調査のアンケート結果が天野委員より報告された。関連協会が多いのでデータカバー率が悪い。プレキャスト製品の関連団体の全名簿を現在整理中なので，名簿整理後，カバー率向上のために何らかの対策を講じていく必要がある。ただし，データ項目

が協会ごとに違ってきたりするので、情報収集方法を整理する必要がある。

- ▶ 資料 5-5: 北垣委員より、データ集計方法の資料が説明された。PC, 中間処理, 最終処分場だけでなく、他の業界にも利用できる基本的なデータの整理方法である。
- ▶ 資料 5-5 に関連して、野口委員より、WG1,2 の報告書のまとめ方の提案がなされた。日本地図上に都道府県別、個別の工場のデータを表示し、物質の移出入についてわかる範囲の物質移動(所在工場の都道府県→出荷先の都道府県, 所在工場の地域→出荷先の地域)をビジュアルに示す。
- ▶ 堺委員長より、報告書のデータ取りまとめに関して追加コメントがあった。消費電力は各地域で排出係数が違うので、CO2 換算する場合には注意が必要である。
- ▶ 紙田委員より、輸送の細かいトレーサビリティについて、スラグ協会内ではある程度まででよいのでは、という意見があることが示された。これに対して、野口委員より、工場が特定できない範囲の大まかな地域で地域間移動のデータを示すよう依頼された。
- ▶ 資料 5-6: インベントリ・データのまとめ方について説明がなされた。それぞれの環境負荷原単位がどのような算出方法を経て求められたものなのか、その算出方法、利用文献値などを記載する。また、都道府県別ごと、種類ごとにデータをまとめるなどもあるとよい。全国のデータのカバー率なども記載するとよい。最終的インベントリについては、棒グラフで平均と地域ごとに各工場データなどが記載されているとよい。
- ▶ 堺委員長: 基本的なデータの記載に対するルールの確立が必要である。経済調査会の積算資料のユニットにあわせるなど、**流布使いやすい**データの体系的整理方法などの議論が必要である。そのときにどのようにオーソライズしていくかなどの検討も必要である。
- ▶ 橋本征二委員: インベントリデータの整理方法については、そのインベントリデータを使う目的による。積算資料のような細かく分類されたインベントリデータとマクロな分野ごとのインベントリデータは整理方法は異なると思う。
- ▶ 北垣委員: インベントリ・データを体系的に整理する際に、単にデータを分類するのではなく、データの使い方・計算方法を業界ごとに整理しておく方が、業界ごとの態度が明確になりよいと思う。
- ▶ 曾根委員: 土木学会で計算方法(システム境界)を検討しており、利用できるように思う。

4. 宿題

- ▶ 野口委員: アンケートデータのまとめ方、進捗、結果については、各個別業界ごとに次回報告いただく。
- ▶ 大脇幹事より、インベントリ・データのまとめ方については、後日説明が送付されるのでその指示に従うものとする。
- ▶ 碎石協会は現時点で CO2 排出量が調べられていないので、北垣委員から送付されるアンケート票をもとにインベントリ・データの収集を年内中に行うようにしていただく。各都道府県 10 個程度のサンプリング調査ならどうか。

5. 次回WG1/2 委員会日程

10月07日 15時～